

だいにぎ議会だより



今年も見事に咲きました（外大野しだれ桜）

特別委員会設置	(3)
平成25年度の主な事業	(4)
第4回定例会で審議された議案	(5)～(6)
一般質問（10人が登壇し、町政を問う）	(8)～(17)
議事録の検索と閲覧ができます	(18)

No.
173
平成25年
4月12日

平成25年度一般会計予算 88億8,500万円

平成25年 第1回定例会

平成25年第1回定例会が3月6日から15日までの10日間の会期で開かれ、一般会計・特別会計予算、人事案件など、町長提出議案47件、議員提出議案2件が審議され原案どおり可決しました。

一般質問では、10人の議員が登壇し、町政全般について質問が展開されました。



町民の安全・安心の確保と

防災対策が最優先課題

予算編成に当たっては、町民の安全・安心の確保、防災対策を最優先課題としながら、依然として厳しい財政状況を踏まえ、必要性、緊急性の高いものや有効な事務事業に重点配分し、職員の定員管理や町債の発行の抑制による歳出縮減を図る一方、地域防災計画書の製本とダイジェスト版の各戸配布、災害時用簡易テントの購入、避難所案内板の製作取付、コミュニティFM放送局の運営補助、太陽光発電設備設置事業、地区防犯灯電気料補助、特定健康診査個人負担金の無料化、斎場控室改修工事、地区行政懇談会、中学校ス

クールバス運行などを計上し、安全・安心のまちづくり、安心して暮らせるまちづくり、活力あるまちづくり、豊かな人間性と子どもたちの学力を伸ばすまちづくり等の施策を推進します。また、「ふるさとに誇りを持ち、お互いが支え合い、助け合いがある町づくり」を目指し、事務事業の優先度、緊急度を勘案して、限られた財源の重点的かつ効率的な予算の配分に努めました。

この結果、一般会計予算の総額は88億8500万円、前年度当初予算に比べ5億7500万円（6・9%）の増となりました。

平成25年度 各会計予算

会 計 別		予 算 額	前年度比較 (△減)
一 般 会 計		88億8,500万円	5 億7,500万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	28億7,524万 2 千円	7,596万 4 千円
	後 期 高 齢 者 医 療	2 億4,163万 1 千円	1,024万 1 千円
	介 護 保 険	22億7,336万 5 千円	2 億1,092万円
	介 護 サ ー ビ ス 事 業	1,808万 9 千円	563万 4 千円
企 業 会 計	浄 化 槽 整 備 事 業	1 億741万 5 千円	△ 422万 9 千円
	水 道 事 業	7 億3,753万 1 千円	△ 2,213万 8 千円
総 額		151億3,827万 3 千円	8 億5,139万 2 千円

教育環境調査研究特別委員会を設置

大子町議会では、教育環境に関する調査研究をするため「教育環境調査研究特別委員会」を設置しました。

教育現場における問題が社会的な問題として取り上げられ、教育環境の安心安全に対する町民の関心が高まっている現在、町の教育環境整備は町の次世代を担う子どもたちを育み、町の将来も育むことにつながるものと考え、次の項目について調査研究することになりました。

- ① 大子町の教育環境の安心と安全に関する事項
 - ② 町内の学校の閉校に至るまでの社会背景と行政のかかわり合い
 - ③ 大子町の教育現場での現状の問題
- なお、調査研究の結果は議会で報告され、公表されます。



〔委員会構成〕

委員長	大森勝夫
副委員長	藤田友晴
委員	藤田 健
〃	野内健一
〃	藤田 稔
〃	鈴木陸郎
〃	齋藤忠一
〃	金澤真人
〃	岡田敏克
〃	中郡一彦
〃	櫻岡義信
〃	菊池靖一

第1回臨時会

平成25年1月29日に第1回臨時議会が開催されました。

◆ 審議された議案

◎ 新大子町環境センター建設工事請負契約の締結について

・ 契約の金額

21億9450万円

・ 契約業者

エスエヌ環境テクノロ

ジー(株) 東京支店

原案可決

◎ 平成24年度大子町一般会計補正予算(第7号)

・ 温泉管理費機械器具類購入費

339万2千円

・ 水中ポンプ機器借上料

23万4千円

・ 子ども手当給付金

111万5千円

・ 児童手当給付金

93万円

原案可決

平成25年度の主な事業

安全・安心のまちづくり

- ・災害時に緊急情報を伝えるコミュニティFM放送施設の整備 …………… 2億2,958万6千円
- ・太陽光発電設備の設置（文化福祉会館） …………… 5,121万7千円
- ・災害発生時に速やかに避難所への誘導を行うための案内板の設置 …………… 43万4千円
- ・有線設備の損壊時や長時間停電時に対応できる非常用衛星電話の運用 …………… 337万8千円
- ・「地域防災計画」の製本及びダイジェスト版の各戸配付 …………… 86万9千円
- ・災害に備えた住民用非常食の計画的備蓄 …………… 37万8千円
- ・火災時の防火水槽の整備 …………… 1,273万円

安心して暮らせるまちづくり

①高齢者等弱者に対する福祉の向上

- ・一人暮らしの高齢者等の安否を確認する「安心コール事業」 …………… 169万9千円
- ・通報装置を家庭に設置する「緊急通報体制整備事業」 …………… 267万3千円
- ・高齢者健康づくり事業 …………… 188万6千円
- ・高齢者等にタクシー利用券を交付する「高齢者等生き生き外出助成事業」 …………… 201万6千円

②若者の定住化促進・子育て世代への支援

- ・子育て世帯の住宅建築を支援する「子育て世帯住宅建設等助成事業」 …………… 1,300万円
- ・働く保護者等の子どもたちを預かる「放課後児童クラブ事業」 …………… 1,277万円
- ・放課後の子どもたちの居場所をつくる「放課後子ども教室事業」 …………… 1,616万9千円
- ・就学前の親子の交流の場を提供する「子育て支援センター事業」 …………… 800万2千円
- ・病気療養中・回復期にある児童を預かる「病児・病後児保育事業」 …………… 853万8千円

③廃棄物処理等の生活環境施設の整備

- ・廃棄物処理施設整備事業 …………… 5億3,684万円

④保健衛生の向上・健康の増進

- ・がん検診推進事業、各種検診委託事業、予防接種委託事業 …………… 7,397万4千円
- ・国民健康保険被保険者の「特定健康診査個人負担金の無料化」 …………… 300万円

活力あるまちづくり

①町民参加のまちづくり

- ・町民の発想による活動を支援する「町民発想地域づくり助成事業」 …………… 265万7千円
- ・広く町民の意見を聴き町政に反映させる「地区行政懇談会」 …………… 10万5千円
- ・旧町内の屋台の文化的価値を調査する「屋台に係る文化財等調査事業」 …………… 103万5千円
- ・プレミアム商品券の発行助成事業 …………… 1,000万円

②観光資源を活かしたまちづくり

- ・中心市街地活性化基本構想策定業務委託事業 …………… 215万3千円
- ・ゴールデンウィーク中のイベントを促進する「大子ふるさと博覧会事業」 …………… 198万4千円
- ・昭和の8ミリ映像を保存・活用する「地域映像アーカイブ構築事業」 …………… 150万4千円
- ・観光SLシャトルバス（常陸大子駅～袋田の滝）運行事業 …………… 371万5千円

③農林業の基盤づくり

- ・大子町農畜産物ブランド化推進事業 …………… 25万7千円
- ・耕作放棄地を利用した「花木果樹産地形成事業」 …………… 50万円
- ・優良種の導入補助等「畜産・酪農振興事業」 …………… 796万1千円
- ・森林機能緊急回復整備事業 …………… 7,136万4千円

◇豊かな人間性と子どもたちの学力を伸ばすまちづくり

- ・筑波大学との連携による「学力向上推進事業」 …………… 298万1千円
- ・児童・生徒の英語力向上のための「英語指導助手招致事業」 …………… 1,625万5千円
- ・スクールバス運行业務委託事業 …………… 6,073万5千円
- ・学校間の情報共有化のための「教育ネットワーク構築事業」 …………… 1,211万9千円

提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第3号	大子町新型インフルエンザ等対策本部条例	原案可決
議案第4号	大子町一般職の任期付職員の採用に関する条例	原案可決
議案第5号	大子町指定地域密着型サービスの事業に関する条例	原案可決
議案第6号	大子町指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する条例	原案可決
議案第7号	大子広域公園多目的運動広場の管理に関する条例	原案可決
議案第8号	大子町都市下水路管理条例	原案可決
議案第9号	大子町町道の構造の技術的基準等を定める条例	原案可決
議案第10号	大子町高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	原案可決
議案第11号	大子町立集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	大子町暴力団排除条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	大子町特別会計条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	大子町財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	大子町立小、中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第16号	大子町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第17号	大子町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第18号	大子町障害者介護給付等審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第19号	奥久慈茶の里公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第20号	大子町における土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第21号	大子町中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第22号	袋田観瀑施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第23号	大子温泉保養センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第24号	大子町観光物産館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第25号	大子広域公園多目的温泉プールの管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第26号	大子広域公園オートキャンプ場の管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第27号	大子町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第28号	大子町営住宅及び特定町営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第29号	大子町子育て支援住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第30号	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の規約及び設置について	原案可決
議案第31号	水中ポンプ機器の取得について	原案可決
議案第32号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第33号	町道路線の認定について	原案可決
議案第34号	町道路線の廃止について	原案可決
議案第35号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意

議案第36号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第37号	平成24年度大子町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第38号	平成24年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第39号	平成24年度大子町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第40号	平成24年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第41号	平成24年度大子町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第42号	平成24年度大子町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第43号	平成25年度大子町一般会計予算	原案可決
議案第44号	平成25年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第45号	平成25年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第46号	平成25年度大子町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第47号	平成25年度大子町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第48号	平成25年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算	原案可決
議案第49号	平成25年度大子町水道事業会計予算	原案可決
議員提出議案 第1号	大子町農業委員会委員の推薦について	原案可決
議員提出議案 第2号	教育環境調査研究特別委員会の設置について	原案可決
平成24年 請願第2号	「東海第2原発を再稼働しないことを求める意見書」採択に関する請願	継続審査
平成24年 請願第4号	東海第二原子力発電所の再稼働中止を求める請願	継続審査
選挙第1号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙	当 選

農業委員に推薦

農業委員会等に関する法律の規定により、次の3氏を議会推薦としました。

◆推薦委員

藤田 深氏（上岡）
菊池洋一郎氏（町付）
根本 和一氏（袋田）

大子町農業委員会委員の定数は20名で、選挙で選ばれた委員（公選委員）15名、町長に選任された委員（選任委員）5名で構成されています。選任委員の内訳は、議会からの推薦による者3名、農業協同組合及び土地改良区からの推薦による者各1名となっています。

教育委員に神賀美紀氏

大子町教育委員会委員の神賀美紀氏（頃藤）が、平成25年3月20日で任期満了になるため、同氏を引き続き任命することに同意しました。

任期は平成25年3月21日から4年間です。

人権擁護委員に

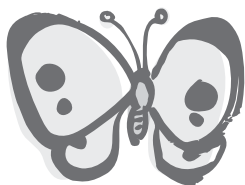
神永幸一氏

人権擁護委員の浅野牧男氏が平成25年6月30日で任期満了により退任するため、後任として神永幸一氏（浅川）を法務大臣に推薦することにしました。
任期は3年です。

後期高齢者医療広域連合議会議員に

吉成好信議長

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の任期満了に伴う一般選挙において、大子町議会から吉成好信議長が氏名推薦され当選されました。
任期は、平成25年3月20日から平成25年3月19日までの2年間です。



一般質問

企業誘致に対し積極的な活動を

重要課題、あきらめず進める



菊池靖一 議員

会の変化が起こるかかわからない。町内の誘致可能な場所の調査やインフラの整備など、いつでも受け入れられるような体制づくりや情報発信が必要では。

答 町長
アンテナを高くして情報の

問 企業誘致に対し、最近ではあきらめムードのように感じられるが、現状はどうなっているのか。

答 町長

重要課題と認識し、決してあきらめてはいない。新規立地、事業拡張に伴い新たに町民を雇用する企業に対し、一人につき15万円を3年間交付する奨励金制度、新規立地事業へ固定資産税の5年間課税免除などの企業支援策を設け、企業誘致に取り組んでいる。

問 これからどのような社

ドは地域の社会体育活動や行事などの際には駐車場として利用されており、地域の避難場所として位置づけられている。事業内容や活用方法、企業の詳細な点について精査をし、慎重に検討していきたい。

の収集、発信、町内企業の実情把握等に努めていきたい。

問 旧下野宮小学校を企業が払い下げたいという話があるが伺ったが、どの程度進んでいるのか。

答 町長
体育館を除いた土地及び建物について申し出があった。現在、町立体育館及びグラウン



旧下野宮小学校

ごみの減量化と循環型社会の構築は

問 大子町のリサイクル率は20%ほどだが、資源の有効利用やコスト削減、環境への配慮などを考えると焼却する量を減らす必要がある。分別になると住民の協力なくしては取り組みにくい。リサイクルの必要性と効果をよく説明し、理解を求めることが大事であり、町づくりの基本でもあると

思うが考えは。

答 町長

ごみの減量化を進めるためには、無駄をなくすこと、分別を確実に行っていくということが重要だと考えている。啓発活動を進めるとともに今後は、容器包装プラスチックの分別収集を進める予定である。

自主防災組織の

活動に対し町の対応は

問 地域のコミュニティと防災を担う自主防災組織の活動に対する町の対応は。

答 町長

自主防災組織と民生委員、日赤奉仕団、機能別消防団あるいは防災士等々の連携も視野に入れ、地域が一体となった防災体制を構築していきたい。

問 9月定例会の質問で地域のリーダーや防災士を養

成することを提案したが、その後どのように進んでいるのか。

答 消防長

茨城県では地域の防災リーダーを育成するためにいばらき防災大学を開催している。このような講習会などを利用して防災士や地域の多くの防災リーダーを養成していきたい。

一般質問

大震災被災地支援との連携を

答 再生ガレキの受入れを打診する

立整備することは、県を通じて被災地自治体へ打診する

ることも考えられる。



小林秀次 議員

自衛隊誘致案の経過と今後の方針は

問 昨年12月議会で町の活力創出策として創造の森へ自衛隊訓練施設の誘致を提起したが、以後この件に對しどのような認識を持ち誘致活動をしたのか。その経過や課題、結果、今後の方針について伺う。

と現地視察の結果、現状の50町歩では自衛隊の訓練施設用地としては狭すぎることだが、私も今回の大

問 町長は日頃、共助の精神の重要性を語るが、東日本大震災東北地方被災地を支援する方策として、復旧の最大課題である震災廃棄物で放射性物質の安全性に問題のないコンクリートガレキを創造の森（池田・北田気・久野瀬地内）へ受け入れ、将来の利活用のために整備する考えは。

答 町長

自衛隊施設の誘致が実現した場合、隊員の駐在による経済効果や地域の活性化が大いに期待できると認識し、誘致に對し真剣に対応した。陸上自衛隊勝田駐屯地司令との話し合い



陸上自衛隊の訓練活動

震災での自衛隊の活躍や存在を強く認識し、震災時のための訓練ができる施設部隊やレンジャー部隊が、大子町に適合すると考えていた。

現在、勝田駐屯地に對し何らかの部隊が大子町を使っていたら、今後注視していく。

創造の森開発積極論に対する見解は

問 創造の森の課題として区域内に個人、国有地合わせて4・7町歩の飛び地が存在するが、この件についての考えは。また、開発や整備に伴う内部要因として町財政がかかわるが、町財政に對する町長の現状認識を伺う。更に、現在の財政現状での創造の森の開発拡張は可能か不可能か。

事業や企業進出等による受入先として、創造の森一帯の用地買収を含め町有地の条件整備を進めて行かなければならないと考える。

答 町長

区域内に未買収の土地があることは大きな課題だ。今後少しずつ整理していく。また、町財政の現状は硬直化と認識している。現在、環境センター整備事業等大きな事業が予定されており、今すぐ財政に負担のかかる開発事業等は難しいと考える。今後国県による

答 町長

先行投資的に財政調整基金を取り崩し課題の飛び地の整理に財源を活用したい。

一般質問

コミュニティFMの有効活用を

答 議会のダイレクト放送も可能



佐藤正弘 議員

問 大災害に見舞われた場合、必要な物資が届かない可能性がある。一定の備蓄施設が必要と考えるが。

答 町長

備蓄倉庫に限らず、室内に確保し置く場所があれば対応できる。現在は消防署の備蓄倉庫にあるものを移動することも考えている。

地方公務員給与削減への考えは

問 コミュニティFMの運用は、防災情報や災害情報以外でも有効な活用が望まれるが、どのような運用方法を考えているのか。

答 町長

広報だいたいやお知らせ版の音声版、自主番組、観光案内、各種イベントの放送などを想定している。

問 議会の一般質問など議会の内容も考えられないか。

答 町長

定例議会あるいは臨時議会等のダイレクト放送も可能と考える。

問 地方公務員の給与削減を前提とした地方交付税の強引な押し付けをどのように考えているのか。

答 町長

地方交付税制度を通じた国の押しつけであり、地方公務員の給与は自治体が配分すべきであるという観点から反対である。

問 太子町の職員給与削減

高齢者、定住促進対策は

問 高齢者等にタクシー利用券を交付する高齢者生き

生き外出事業の地域ごとの利用者は。

答 町長

利用者は54名。太子地区17名、依上地区3名、黒沢地区1名、宮川地区4名、生瀬地区5名、袋田地区23名、上小川地区1名です。

問 有効活用される地域がかなり限定される数字になっている。遠い地域の人たちに財政負担が少なくて済む方法は考えられないか。

答 町長

町内には、さまざまな施設がある。不公平感はない。

問 定住化促進や子育て世帯への支援として子育て世帯住宅建設等助成事業を実施しているが、助成数は。

答 町長

新築7件、増築4件、リフォーム1件の12世帯である。

問 新築できる経済的な力を持つ人は限られる。経済効果を考慮すれば、新築に限らず全世帯を対象とした住宅リフォーム助成制度を検討すべきではないか。

答 町長

全世帯を対象とした考えも検討していきたい。

問 平成21年以降、出生数は90人台を推移している。このような状況が続けば町の活力が失われ、将来、町民の生活や町にも大きな影響を及ぼす。独自の祝い金制度や18歳までの医療費無料化などの子育て支援の充実が必要と思うが。

答 町長

今のところ創設の予定はない。



高齢者の願いは安全安心な暮らし

一般質問

「大子のうた」著作権の対応は

答 今後業者と作者を交え話したい



岡田敏克 議員

由は。

答 町長

町内に在住しカバーCD制作の実績があり、専門的な知識や技術を持っているとのことで、その業者に依頼した。

問 完成したCDはオリジナルとしての面影もなく、トラックナンバーの順番も間違っている。プロならばこんな間違いはしないし、著作権の問題も発生しない。著作権者からCDの回

答 町長

収と謝罪を求められているはずで、町は業者から作成代を戻してもらうべきである。町と業者は著作権者への誠意が全くなく、回収についても町のホームページや広報で呼びかけて努力すべきである。

答 町長

統廃合により通学における利便、安全確保のため運行している。

問 安全安心、事故や事件に巻き込まれないよう検討すべきではないのか。

答 教育長

教育委員会への重要な提言、要望であり、見直し検討の必要を感じている。

一般質問のその後を問う

問 町民の足である路線バスについて昨年町から一方的に廃止されてしまった件でその後の対応は。

答 企画観光課長

茨城交通から報告があり、3月16日から従前の運行形態に戻す返事がありました。

問 健康のまちづくりとし

て、グラウンドゴルフ場の認定コースの増設はどうなっているか。

答 生涯学習課長

大子広域公園周辺コースは公園が県の土地のため、奥久慈茶の里公園園地コースは専用コースではないため、現在は進んでいない状況です。



スクールバス通学（だいご小学校）

一般質問の内容は、質問者自ら要約執筆し、掲載しています。

問 S L 運行キャンペーンにちなみ、大子町をPRし、大子町の良さを知ってもらう目的で製作された「大子のうた」のCDは、大子小唄をはじめ大子町に住む人の手による曲、詩、地元歌手等の曲9曲が再現されるということだったが、完成したCD内容はその面影もなく、全く違う内容に作られてしまったことに関係者から問題が浮上した。業者で作成依頼した枚数は1千枚、金額は約65万円である。依頼した経緯と選定した理

問 依上小学校の通学で、路線バスが通っていない上岡、山田の児童が約5kmも歩く。防犯上、交通安全上からも、小さくても良いからスクールバスを出してほしいとの要望があったは

スクールバス運行に不公平感は

ず。滝倉では、1人か2人のために年間3百万円をかけ特別に出している。要望書を出しているのに、こちらは予算がないから出せないのでは不公平ではないのか。

問 健康のまちづくりとし

一般質問

自然エネルギーへの町の対応は

事業者等の情報収集に努める



金澤眞人 議員

査検討した企業は。

答 町長

農地やゴルフ場、公共施設など3件ほど打診があったが今の所進展しない。

問 自然エネルギーに対す

る町の今後の考えは。

答 町長

推進の必要性は認識しているが、不明な点も多いので先進地や事業者の情報収集に努める。

町の農業の将来像についての考えは

問 集落営農や農地集積、

集団営農の状況は。

答 町長

現在集落営農や集団営農の組織はないが、今後人・農地プランに沿って農地の集約化、効率化を図る。

答 農林課長

今回策定した人・農地プランの中では、法人3件、個人14人となっている。

問 農業委員会との連携は

どうなっているか。

答 町長

本来の業務のほかに人・

畜産振興のために町営牧場において新年度から1年中預かれる体制にする。

問 農業の多面的機能の維持あるいは環境保全のために守るべき農地とはどのように考えているか。

答 町長

山間地は平地に比べると作業効率の悪さや鳥獣被害もあるが、各種対策を行い優良農地がこれ以上減らないように努める。



遊休農地対策と国産飼料の増産にWCS

町内・地元企業の活用に対する考えは

問 あいおんの丘建設に当たり地元業者の参入は。また、請負工事内容は。

答 町長

地元業者は4社で土工事、生コン工事、鉄筋工事、リースとなっている。

問 備品、食材納入で地元

利用の状況は。

答 町長

地元で可能なものは積極的に地元利用を要請している。

問 環境センター建設で地元業者利用の割合は。

答 町長

地元業者が参入しやすいように分割発注した。メーカーには下請けや物資調達にも配慮を願っている。

一般質問

関係機関が連携して観光振興を

答三者で月1回の会議を開催する



藤田 稔 議員

工会で月に1回程度の会議を開いて行きたい。

問 平成25年度の工事で第二観瀑台や滝入口階段部の工事内容は。

答 企画観光課長

木造デッキの塗装工事や滝入口階段部分に芝桜等を植栽し環境美化を図る。

問 トンネル内のイルミネーション(光の演出)は、現在点灯されていないが。

答 企画観光課長

漏電が見つかり調査をしたが初期投資時額(約3千万円)に匹敵する。今後、何らかの方策をとって行く。

問 福島第一原発事故に伴う賠償請求はされたか。また、今後の対応は。

答 町長

事故に係る対策費約2200万円、風評被害等で約1億6500万円請求し

た。現在までは水道水及び廃棄物汚泥の放射線量検査費用160万6500円の補償のみである。

答 総務課長

2月の説明会では1億8千万円が対象外となった。3月の説明会を聞いた上で今後の対応を考えたい。

問 町指定管理施設への補償金ほどの程度あったのか。

答 総務課長

森林の温泉は約549万円、観光物産館は約1410万円、太子温泉やみぞは約282万円である。

問 トンネル内部に手すりの設置やトンネル内部壁の利活用、案内放送や観光案内所設置等、新たな誘客対策(おもてなし)はどうか。

答 町長

ソフト面の誘客対策を進めたい。提案頂いたことに

についても検討したい。

緊急時の体制の充実と整備促進を

問 AEDの講習会の実施及び維持管理状況はどうか。

答 消防長

平成18年度から24年度までに239回実施した。受講者数は延べ4763人である。管理状況は、町内公共施設31か所の各施設で管理している。除細動パットの使用期限は約3年、バッテリーは約4年である。

問 ドクターヘリの出動要請と運航状況は。また、ランドブーポイントの整備状況及び消防職員の出動時の課題はあるか。

答 消防長

約2年間の出動件数は県で1037件。町は昨年43件。ランドブーポイントは町内31か所あり19か所で散

水が必要。この場合救急隊、散水部隊、安全確認部隊で9名が必要であり、人員配置には非常に苦慮している。

問 消防長と消防署長の兼務は太子町だけであるが。

答 町長

2年前は早急にしたいと答弁したが次年度になる。



AEDを使った応急手当の講習(町消防本部提供)

一般質問

乗合いタクシーの開始はいつか

答 導入を検討する会議が継続中



野内健一 議員

べきかどうかが、まだ結論に至っていないのか。

答 副町長

いまだに入口論の段階が解決されていない。

問 平成24年度に、乗合いタクシー事業予算が計上されたが、その事業は実施されず、平成25年度予算では計上されていない。なぜか。

答 町長

乗合いタクシー事業導入に向けて、地域公共交通会議を3回開催したが、様々な意見や課題が出ており、乗合いタクシー導入の結論が出ていない。

問 乗合いタクシー事業の運営方法、地域区分等が問題ではなく、乗合いタクシー事業を大字町に導入す

方から町民の方に伝達されると思う。

問 新年度の予算には計上されていないが、この会議を今後も継続していくとは、どう理解すればいいか。

答 町長

今進めている、生き生き外出事業やその他の関連事業を全部まとめて、乗合いタクシー事業に近い事業を総合的につくり上げること、この会議で検討する。

防災・安全交付金を通学路の安全対策に

問 防災・安全交付金が今回の補正予算で計上され、

社会インフラの総点検、道路の維持補修、通学路の安全対策等に使えるとのこと

だが、町としての活用は。

答 町長

小中学校7校の通学路である町道6路線で、側溝の布設替えによる修繕や、待避所設置費を計上した。

問 昨年、

文科省・国交省や警察庁の合同で、各自治体に対し通学路の緊急点検の要請があつたが、対策の必要な危険箇所は何箇所、その進捗状況は。

答 教育長

町内の通学路で要対策箇所は18か所で、その内7か所は対策済。残りの11か所は継続中である。



大字下金沢地内の通学路（依上小学校区）

次世代自動車

充電インフラ整備の考えは

問 国の補正予算で、次世代自動車充電インフラ整備

答 町長

促進事業が計上された。観点から、県が策定する計画に基づいて検討する。

一般質問

ご当地ナンバーを導入しては

答 デザインに配慮し検討を進める



大森勝夫 議員

のためにも原付ナンバープレートに採用し、知名度の向上を目指してはどうか。観光客によるクチコミ効果も期待できるが、町の考えは。

域資源に恵まれているので、デザインに配慮しながら導入を検討したい。

答 町長

つくば市、高萩市、石岡市、牛久市、土浦市で導入されている。住民の地域への愛着心を深め、軽自動車税への関心を高め、税収確保につながる効果も期待できる。たき丸くんを始め、町は地



こんなナンバープレートはいかがですか（イメージ）

応マニュアル等の検討は。

答 総務課長

避難場所は中央公民館あるいは「まいん」を想定している。まず30キロ圏内の住民、その近隣地区と順次避難指示を拡大し、指示も屋内避難、避難の順で進める。今後、町の防災会議で協議し避難計画をまとめる。

配備予定の安定ヨウ素剤は町内備蓄なのか他地区での備蓄なのか。

答 総務課長

町の施設に備蓄する。30キロ圏内の住民数から算出された量が配備される。

災害時のオフサイトセンターはUPZ圏内が想定され、町は地盤の安定度が高く原発施設からの風向き等の条件も良好である。代替オフサイトセンターの候補地として誘致できないか。

答 町長

県に打診をしてみたが明確な回答は頂いていない。内部被曝検査についての動きと考えは。

答 町長

県内で5ないし6市町が検査に補助金を支給している。大子町で18歳までを対象として算出すると2千万円程度の負担となる。

交流人口の増加への取組みを

交流人口の増加は経済面も含め町の活性化に寄与する。震災イベントにより民間で都市住民と交流を深めた団体もある。そうしたつながりを政治的に発展させる取り組みが必要では。

答 町長

民間の方々と墨田区と交流を深めている団体があり、その縁で区長さんと何度か同席した機会があった。スカイツリーで賑わっている地区でもあり、今後、墨田区と大子町の交流を深めていきたい。

その他の質問

○いばらきっ子郷土検定事業について

原発施設から30キロ圏内の緊急時防護措置を準備

問

する区域（UPZ）に大子町も指定された。有事の対

原子力災害対策は

原発施設から30キロ圏内の緊急時防護措置を準備

問

する区域（UPZ）に大子町も指定された。有事の対

答 町長

業について

一般質問

放射線量測定の実効性は

【答】土壌は必要に応じ検査を実施



櫻岡義信 議員

問 現在、町で実施している放射線量測定は、空間線量と農作物などに対して行われているが、河川汚染へとつながる土壌についても早急に放射線量の測定が必要と考えるが。

答 町長

当町では、土壌に関しては個人からの依頼に応じて町で計測している。町主体では、主に上野宮地区の土壌を3回に渡り検査してきた。検査は、県や関係機関、所轄官省と協議のうえ実施しており、結果は何れも基

準値を下回っている。今後も必要性に応じた検査を実施していく。

問 土壌を測定した際に、放射性物質が検出された場合の土壌の扱いは。

答 副町長

土壌の放射線量は、役場内のベクレルモニターで測定し、放射線量が低い場合は、役場にて一般廃棄物として処理している。

問 測定の際は、どのような服装か。

答 町長

測定時は、1検体ごとにマスク及び手袋を交換しながら対応している。

問 ベクレルモニターではイノシシの肉も測定していると思うが、基準値を超えた線量が出たことはあるか。

答 農林課長

基準値を超えるものも

あった。基準値を超えた検体については、依頼者が希望すれば返却するが、基本的には農林課の方で処分している。

水の

安全・安心は

問 空間線量が周囲より高い町の北部地区、八溝山付近の水源についても放射性物質の検査が必要では。

答 町長

これまで、大子浄水場と生瀬浄水場に関し、取水した上水、原水の検査を実施してきた。八溝山麓の蛇穴、上野宮、中郷浄水場については、町で放射能測定器購入後に上水を検査している。結果は、放射性ヨウ素、セシウムとも未検出である。今後も安全・安心な

水道水供給のため、原水の検査も実施していく。

問 原水の砂地は検査しているか。

答 水道課長

今後検査していく。

問 水道未加入世帯について、PM2.5や自然災害などにより安定的な飲料水を得られない可能性はあるが、どう考えているか。

答 町長

町の水道普及率は、99.3%と県平均の92.5%よりも高い水準である。

今後、町として未加入世帯に加入促進を進め、更なる普及整備を図っていく。

問 Uター



放射線量検査サンプル採取

ン者や移住者が新たに水道設備を必要とする場合、過疎化・少子高齢化対策の環境として、加入負担金の減免など支援策を検討できないか。

答 町長

減免という支援策は計画していない。

一般質問

町の誇り！大子中女子が全国一

答 今後は横断幕等の設置を考える



藤田友晴 議員

どもたちのため、競技存続の活動ができないか。

答 町長

子どもたちの誉れを多くの町民に知らせたい。全国一、関東一など好成绩時には横断幕等を考えたい。また、国際オリンピック委員会やレスリング競技が外れたことは非常に残念である。

農林業と観光を結び、町の活性化を

問 観光産業は、装置型観光から触れ合い型、体験滞在型といったツーリズム観光へ変わりつつある。宮城県諸塚村では95%が山林で観光資源はないに等しかったが、全村森林公園化構想で地域資源と地場産業を観光に生かした。そば打ちや山菜料理、みそ仕込み等の体験パックや「森の古民家」

と称して古い民家を改修して活用。地域の人と素材を生かせる物語のある体験型観光を企画している。当町も豊かな地域資源があり人材もいる。地域の良さを最大限に活用し、観光と農林業を結び、観光産業の活性化を図れないか。

答 町長

現在、町内では「おやき

学校」や「奥久慈茶の里公園」等、特産品を手づくり体験ができる施設があり、体験型観光施設として楽しめる観光スポットとなっている。また、観光SLバスの平日活用方法として、施設を観光する「体験コース」、奥久慈しゃもやこんにゃく料理を食する「味覚コース」等、大子の魅力を堪能できるようなモデルコースを企画検討している。農業、林業体験で



4月6日から運行が始まった「大子町観光SLバス」

成功している地域の事例も承知している。農林業者の立ち上がりを期待したいし、全面的にバックアップしたい。

町民のメンタルヘルス対策は

問 町民が健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会が大切。町民のメンタルヘルス対策はどう取り組んでいるのか。

答 健康増進課長

メンタルヘルス対策は、心の不調の早期発見や相談体制の整備に取り組むこと

が重要と認識している。これまで、こころの健康に関する内容を広報等で掲載し、気づきへの促しを行っている。おり保健センターで心の相談、メンタルサポートステーションきらりらで悩み相談に対応している。

体制の整備に取り組むこと

問 学校、家庭、地域に支えられ、しっかりと自分の夢や希望に向かって努力している当町の子どもたち。過日の全国選抜中学校レスリング大会では、大子中学校女子が見事優勝、全国1位になった。当町にとって快挙であり、大変な誇りである。日々努力し、好成績を残した子どもたちをバックアップできないか。残念ながら国際オリンピック委員会ではレスリング競技が除外されたが、オリンピックを目指して頑張っている子

吉成好信議長 藤田健議員 自治功労者として受賞

地方自治の振興発展に寄与した功績により、吉成好信議長が全国町村議会議長会から自治功労者表彰（議員在職27年以上）、藤田健議員が茨城県町村議会議長会から優良町村議会議員表彰（議員在職12年以上）を受けられ、受賞されたお二人に対し3月定例会の開会前に議場において伝達式が行われました。



吉成好信議長から藤田健議員（右）への優良町村議会議員表彰の伝達

野内健一副議長から吉成好信議長（右）への自治功労者表彰の伝達



インターネットで 会議録がご覧になれます

大子町議会のホームページ (<http://www.kaigiroku.net/kensaku/daigo/daigo.html>) で平成23年からの定例会及び臨時会の会議録が閲覧できます。目次からの閲覧のほか、発言者やキーワードにより詳しく検索したり、議員や答弁者からも検索してご覧いただけます。また、使い方の説明や議会用語集も掲載してありますので、御利用ください。



大子町のホームページからご覧になるには…トップページの「行政・くらし」をクリック⇒各課紹介「議会事務局」をクリック⇒「大子町議会会議録の検索・閲覧」をクリック⇒「会議録検索システム」をクリックにより、大子町議会のホームページに入ります。

自治研究会に参加

2月19日に水戸市の茨城県市町村会館で町村議会議員自治研究会が開催され、町議会議員11名が参加しました。

教育・心理カウンセラー 富田富士也氏が「議員は町のカウンセラー」、風の丘大野勝彦美術館館長の大野勝彦氏が「夢は叶うもの思い強ければ」と題した講演が行われ、興味深い内容のお話を伺うことができました。

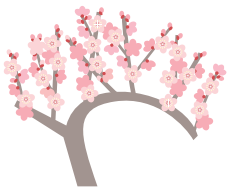
今回の表紙

見事に咲き誇った「外大野しだれ桜」。多くの見物客の目を楽しませてくれました。

今年是全国的に開花が早く、4月7

日頃に満開を迎えたようです（4

月8日撮影）。



あとがき

シヨッキングな新聞記事に目がとまった。

厚生労働省によると27年後、2040年には大子町人口は半減。2人に1人以上が65歳以上の高齢者となる。私もその頃には75歳になり、今以上の過疎地域、耕作放棄地、手入れ不足の山林を嘆いているのか。

他自治体では出産祝い金等で子育て支援に力を入れていく所もあるが、先行きの懸念もされる。

若者の定着促進、雇用創出のため議会一丸となった行動を起こしたい。「いつやるか」「いまでしょ」のフレーズと共に。

（藤田友晴）